

事業所名	グループホーム みんなの家いずみ
日付	2009/3/23
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	訪問介護員 介護福祉士
自主評価結果を見る	リンク
評価項目の内容を見る	リンク
事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）※	

1. 評価結果の概要

<p>講評</p> <p>全体を通して（特に良いと思われる点など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホーム全体が明るく管理者とスタッフが共に入居者と同じ時を過ごしながらかやさいい声と笑顔で対応しており、チームワークがよく取れている。可能な限り家庭的な雰囲気作りを努め、自由な暮らしを支援し見守り、寄り添う介護で入居者の個性が表出された思い思いの過ごし方が見られた。 ・地域にとけ込んだホームで近隣との交流も日常的に行われており、家族とのコミュニケーションもよく、運営推進会議の継続、家族会の取り組み等開かれたホームである。 ・ホームの敷地内には泉クリニックを中心に保健・医療・福祉等の施設が併設され、継続的管理体制が整っている。医師が毎週訪問し日常の健康管理に心を配り、ターミナルケアの取り組みも家族からの厚い信頼を得ている。
<p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>特にありません。</p>

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	ホーム開設から9年目を迎えようとしている。「いつも幸せ・ずっと幸せ・みんな幸せ」をモットーに一瞬一瞬の命を大切に喜怒哀楽のある人生を入居者と共に支え、支えられて生活できる事を願っている。言葉で伝える事が出来なくても仕事で気持ちや感情が表現できることを常に意識し、五感に働きかけて一日でも長く人間らしく過ごしてもらえ願っている。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	入居者同士の交流はたとえ会話が成立しないものであっても雰囲気をごわさないでゆとりある生活時間が流れていく様に見守っている。入居者が何を訴えようとしているのか、まずじっくりと耳を傾け常に入居者の心に寄り添い、明るくやさしく接する事を心掛けている。スタッフ自身も心にゆとりを持って接する事を大切に考えて研鑽している。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	入居者の過去の経験や生活歴をしっかりと把握し（その人の人生の一番よかった時を知っておく事が大切）本人が活かしたいと思っている能力を引き出せる様に、また、長所が活かせる様に働きかけている。自主的な行動（カーテンの開け閉めなど）は季節・時間に関係なく受け入れる。入居者同士の会話が成立しなくても社会交流としてその雰囲気を大切にしている。居室での思い思いに過ごす時間も見守りに徹し、その人らしさを大切にされた支援に取り組んでいる。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
	スタッフ一人ひとりの質の向上に向けた研修の参加と、運営推進会議や家族会での意見をサービスの向上に活かし、家族との連絡を密に取りながら入居者が安心して過ごせる様な環境づくりを心掛け、一日でも長く充実した日々で過ごせる様に見守るケアを実践し、問題発生の予防と迅速な対応に努めている。		